

（（SHIRE KING））

Shire King 取り扱い説明書

SK120

安全上のご注意

このたびはSHIRE KING製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用になる前に「この安全上のご注意」を良くお読みになり正しくご使用ください。



警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が重傷を負う可能性
または死亡する可能性が想定される内容を示しています。



注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が障害を負う可能性
または物的障害が起こる可能性が想定される内容を示しています。



警告

<電源電圧について>

表示されている電源電圧（交流100V）以外の電圧では絶対に使用しないでください。
（火災、感電の原因となります）

<電源コードの取り扱い>

電源コードを傷つけたり破損したり加工しないでください。
電源コードのそばに熱器具を置かないでください。
電源コードの上に重いものを置かないでください。

<分解・改造はしないでください>

この機器を分解または改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店または弊社サービス係までご依頼ください。

<水にぬらさないでください>

漏電による火事や感電の原因になります。万一、水にぬれた場合は次の処置を行ってください。

- 1、 本体の電源スイッチを切る。
- 2、 電源コードの差込プラグをコンセントから抜く。
- 3、 販売店または弊社サービス係までご連絡ください。

<異常な音、故障状態で使用しないでください>

煙がでていたり、へんな臭いがする時などや、音が出ない、いつもとは違う異常な音が出るなどの状態のときは火災・感電の原因となりますのですぐに電源スイッチを切り、電源

コードの差込プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社サービス係までご連絡ください。

<その他>

アンプを使用しないとき、あるいはおいてある場所を離れるときは短い時間でも必ず電源スイッチを切ってください。

使用を終了したときは確実に電源スイッチを切ってください。



注意

- *湿度の高い場所やホコリの多い場所には設置しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- *ぐらついた場所や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。
- *電源プラグの抜き差しはプラグ部分を持って行ってください。
- *ぬれた手でアンプ本体や電源プラグを触らないでください。
- *長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。
- *移動するときは電源コードをぬいてください。

SHIRE KING 日本総輸入元

有限会社シャスタトレーディング

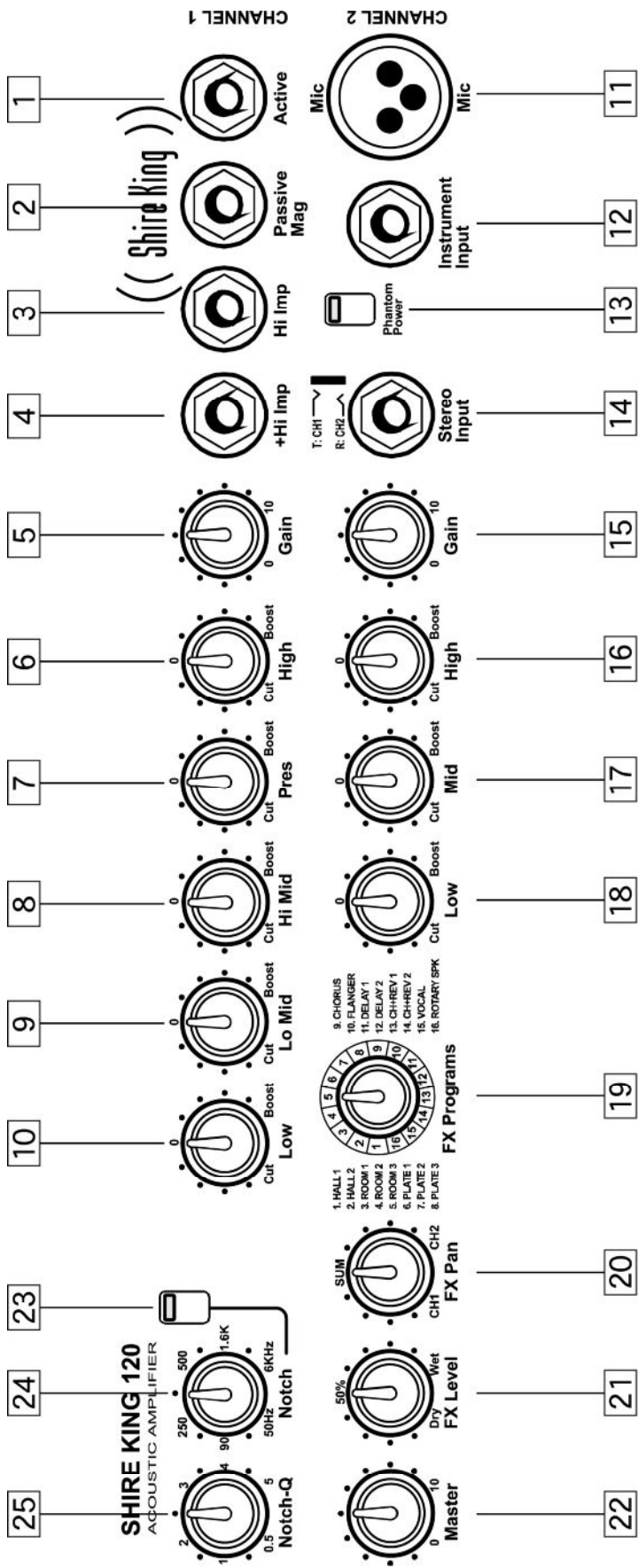
三重県鈴鹿市秋永町989-4

059-387-6924

info@shastatrading.com

シャイアキング SK120の特徴

- 120W RMS の出力、8Ω10インチのキャストフレームスピーカーとダイアフラム式ツイーターを搭載。
- アコースティックギターの音域に合うように設計された162度スラント型バーチプライウッド製キャビネット（容量24リットル）はLOW C（約65ヘルツ）まで対応。
- 65ヘルツ以下の音域はスピーカー保護のためハイパスフィルターを搭載。
- より暖かい音質といきいきとした倍音を得るため、クラスA回路のICとハイインピーダンスインプットのFETを持つ。
- 効きのよいアクティブ5バンドと3バンドのEQを各チャンネルに搭載、ハイとロー側はカーブを緩やかになるように設計。センターでフラットなセッティング。
- バリアブルQノッチフィルターを搭載し不必要なハウリングをカット。
- 高品位アレシス製デジタルエフェクトを搭載、フットペダルによりオン・オフ可能。

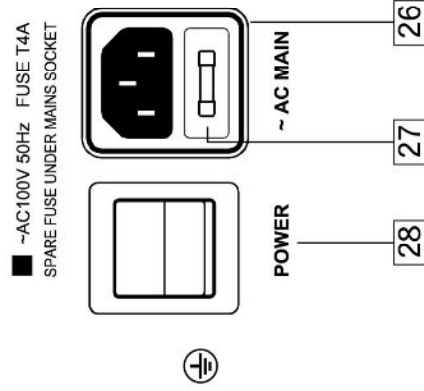
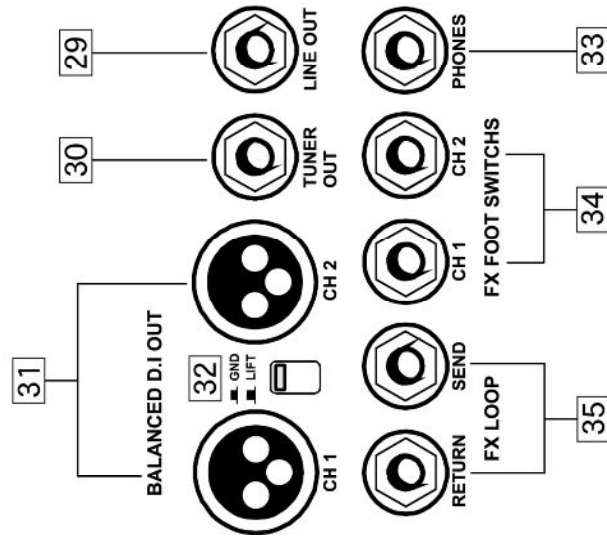




SHIRE KING 120
ACOUSTIC AMPLIFIER

Copyright Headway Music Audio Ltd.
Designed in UK. www.headwayelectronics.com

WARNING ! HOT



DIGITAL FX PROGRAM CHART

PRG NO.	FX TYPE	PRG NO.	FX TYPE
1	HALL 1	9	CHORUS
2	HALL 2	10	FLANGER
3	ROOM 1	11	DELAY 1
4	ROOM 2	12	DELAY 2
5	ROOM 3	13	CHORUS + REV 1
6	PLATE 1	14	CHORUS + REV 2
7	PLATE 2	15	VOCAL
8	PLATE 3	16	ROTARY SPEAKER



AVIS : RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE NE PAS OUVRIE.



PLEASE SERVICE/REPAIR VIA QUALIFIED ELECTRONICS TECHNICIAN APPROVED BY HEADWAY MUSIC AUDIO LTD.

CAUTION !

TO REDUCE THE RISK OF FIRE,
REPLACE ONLY WITH SAME TYPE FUSE AND RATING.

WARNING !:

TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK,
DO NOT EXPOSE THIS EQUIPMENT TO RAIN OR MOISTURE.

SERIAL NUMBER
MADE IN KOREA



コントロールパネル

チャンネル1

- 1、Active 50 k Ω 以下のアクティブピックアップシステムを搭載した楽器用インプット。またいくつかのハイアウトプットのパッシブピックアップにも使用可能です。通常のラインレベルの信号も入力可能。入力時使用するケーブルは高品質なものを使用し、長さは10 m以内を推奨します。
- 2、Passive Mag
1メガ Ω 以下のサウンドホール用パッシブマグネットピックアップに適したインプット。3のHi Imp インプットよりウォームなサウンドを必要とときに適している。入力するケーブルの長さは短いほどよいが6 m以内なら大丈夫です。
- 3、Hi Imp 5メガ Ω 以下のハイインピーダンス用インプットです。主なセラミック製サドル下用ピエゾピックアップやコンタクトピックアップ、シャイアキングのThe Bandに適しています。パッシブのサウンドホールピックアップをここに入れるとややブライتنا音になります。
- 4、+Hi Imp 20メガ Ω までのエクストラハイインピーダンス用インプットです。特にこのインプットに使用するケーブルは高品位プラグを持ったものを使用し、できれば4メートル以内のものを使用するようにしてください。
- 5、Gain CH1 用ゲインコントロールです。時計方向に回すことによって大きくなります。ジャックを差し込む際はこのつまみは0にセットしておいてください。マスターボリュームとの使用方法で参考になる使い方を2通り紹介します。
 - 1、まずGAINとMASTERを0にしてジャックを差し込みます。そしてマスターを70%ほどあげた後GAINを時計方向に徐々に必要なボリュームまであげていきます。この方法はバックグラウンドノイズを最小に抑えることができます。
 - 2、両方0からまずMASTERを25%ほどあげます。その後GAINを必要なボリュームまであげていきます。楽器を強く引いて歪むようであれば少しGAINをさげ、必要なボリュームに応じてMASTERを少しあげます。この方法は適正なレベルに合わせたいときに最も有効な方法です。特に両CH使用しているときはお勧めします。
- 6、High 高域用トーンコントロール $\pm 12 \text{ dB} @ 7 \text{ kHz}$
時計方向に回すとブースト、反対方向でカット。

7、Pres $\pm 6 \text{ dB@} 1,9 \text{ kHz}$ 超高域用トーンコントロール

8、Hi Mid $\pm 6 \text{ dB@} 900 \text{ Hz}$ ハイミッド用トーンコントロール

9、Lo Mid $\pm 12 \text{ dB@} 590 \text{ Hz}$ ローミッド用トーンコントロール

鉄弦の楽器で特にプリアンプをもつものにはこのつまみをカット方向に回すとよい結果が得られることがある。

10、Low 低域用トーンコントロール $\pm 12 \text{ dB@} 120 \text{ Hz}$

バイオリンやマンドリンにはこのつまみをカット方向に回したほうがよい場合が多い。ボディコンタクトノイズやローエンドハムノイズ、低域によるフィードバックがある場合はカットしてください。

チャンネル2

11、Mic $2 \text{ k}\Omega$ 以下用マイクインプットです。

ダイナミック、ファントムパワードマイクロフォン用 XLR インプット

12、Instrument Input $5 \text{ Mega}\Omega$ 以下用ハイインピーダンスインプットジャック。

セラミックピエゾなどのピックアップを搭載した楽器に適しています

シャイアキングの The Band にも適しています。

13、Phantom power 押すことによってオンとなり、マイクに 3.5 V の電源が供給されます。オンになると赤く LED が点灯します。このスイッチをオンまたはオフにするときは常に **Gain** つまみを 0 にしておいてください。

14、Stereo Input ステレオジャックのインプットです。 $1 \text{ Mega}\Omega$ 以下のインピーダンスに対応。チップ側が CH1 に、リング側が CH2 に入力されます。

15、Gain CH2 用のゲインコントロールです。7か8のインプットにジャックを差し込む際は必ずこのつまみを 0 にセットしておいてください。

*マスターとこのつまみの使い方に関しては CH1 と同様です。5の欄を参照ください。

16、High 高域用トーンコントロール $\pm 12 \text{ dB@} 7 \text{ kHz}$

時計方向に回すとブースト、反対方向でカット。

17、Mid 中域用トーンコントロール $\pm 12 \text{ dB@} 590 \text{ Hz}$

詳しくは CH1 の 5 と同様。

18、Low 低域用トーンコントロール $\pm 12 \text{ dB@} 120 \text{ Hz}$

詳しくは CH1 の 6 と同様。

19、FX Program

アレシス社製デジタルエフェクトプログラムセクター

PRG NO	EX TYPE	PRG NO	FX TYPE
1	ホール1	9	コーラス
2	ホール2	10	フランジャー
3	ルーム1	11	ディレイ1
4	ルーム2	12	ディレイ2
5	ルーム3	13	コーラス+REV1
6	プレート1	14	コーラス+REV2
7	プレート2	15	ボーカル
8	プレート3	16	ロータリーSP

20、FX Pan CH1とCH2のエフェクターパンです。センターでCH1とCH2のエフェクターレベルが50対50になります。左にいっぱい回すとCH1のみにエフェクトがかかり、右にいっぱい回すとCH2のみにエフェクトがかかります。

21、FX Level ドライ音とウエット音（エフェクト音）の割合を決めます。センターでエフェクトの係り具合が50%です。

22、Master SK60 のアウトプットレベルを決めます。パワーアンプ部へ送るシグナルの量と背面にあるラインアウトのレベルにも関係します。

23、Notch Button ノッチフィルターのオンオフスイッチです。

24、Notch ノッチフィルターでカットする周波数を決定します。50Hz～6kHz

25、Notch Q Notch で決定した周波数の帯域や長さを決めます。

ノッチフィルターの使い方について

ハウリング、ブーミーサウンドなどの問題を解決するにはノッチフィルターを使用するのが一番効果的です。EQのひとつとしてお使いになられても結構です。

ノッチフィルターはLINE OUTには関与しますがD. I. OUT XLRsには関与しませんのでご注意ください。

ハウリングやブーミーサウンド問題を解決する方法を楽器別にご紹介します。

1、notch button をオフの状態のまま、Notch ノブを以下の周波数に合わせます。

ギター（6弦がEチューンド） 82Hz付近

ギター（6弦がDチューンド）	73 Hz 付近
セロ、マンドーセロ、または6弦をCにドロップしたギター	65 Hz 付近
ブズーキ、オクターブマンドー	98 Hz 付近
マンドリン、バイオリン	196 Hz 付近

- 2、Notch Q ノブを左へいっぱい回します。
- 3、Notch スイッチをオンにし、Notch Q ノブをゆっくり右へ回し、ベストなところで止めます。
- 4、楽器によって両つまみを微調整してください。

高域に起因するノイズなどを取り除く場合は逆に Notch ノブを右へ回したのち Notch Q ノブを右か左へ回しながらベストな位置を見つけてください。

リアパネル

- 26、AC MAIN 電源ケーブルのインプットです。100V AC 50/60Hz 以外の電源を使用しないでください。また使用していないときは電源ケーブルを差し込んだままにしないでください。
- 27、スペアフューズボックス スペアのフューズが格納されています。T3アンペアのフューズを使用しています。
- 28、POWER パワースイッチです。オンにすると赤いランプが点灯します。使用していないときはオフにしてください。
- 29、LINE OUT CH1 と CH2 の両 CH のシグナルが出力されます。トーンコントロールやマスターつまみなどすべてのつまみを通ったあとのシグナルです。
0,5V RMS@100 Ohms
- 30、TUNER OUT チューナーアウトです。CH1 からのプリ EQ アウトとしても使えます。
CH1 の Gain からも独立したピュアなクリーンサウンドです。
Unity Gain@1k Ohm (input level に関連)
- 31、BALANCED D.I. OUT プリ EQ のバランスドラインレベルアウトです。PA や ミキシングコンソールに接続してください。CH1 用と CH2 用があります。
コントロールパネルのボリュームや EQ はこのアウトには関与しません。
2 × Input Level@1k Ω (input level に関連)
- 32、GND/LIFT GND ポジションでシャーシーをグラウンドに接続します。

そして LIFT でグラウンドから切り離します。これはいわゆる“アースループ”現象が起こったときにそのハムやノイズを取り除くことに有効です。

3 3、PHONES ステレオヘッドフォン用をここに差し込むと内蔵スピーカーはミュートされます。練習時やレコーディング時に使用してください。

3 4、FX FOOT SWITCH フットペダル（別売り）を使用してエフェクトループのオンオフがCH 1 とCH 2 別々にできます。

3 5、FX LOOP SEND/RETURN

外部エフェクター用センドリターン端子です。

Send からは **EQ** とマルチエフェクツを通ったあとで **Notch Filter** を通る前のシグナルが出力されます。

Return に入力された信号はアンプのアウトプットとラインアウトに入ります。

ですからその外部エフェクター自身がドライ音とウエット音のバランスを持っていくことが必要となります。リターンにウエット音のみ入力するとドライ音が失われることとなります。

セットアップに関する注意事項

- * エレキギターは差し込んでも大丈夫ですし、歪み系のペダルなども使用できますが、決してアンプ自体をオーバードライブさせないでください。
- * SK60 は通常のエレキギターアンプの代わりにはなりません。どんな楽器を使用する際も SK60 自体で歪みを作ることは避けてください。
- * SK60 はベースギター、ダブルベース、フルレンジキーボードには対応するように設計されておりません。これらをつなげてスピーカーなどを痛めても保証の対象にはなりませんのでご注意ください。
- * ただしベース **EQ** を 0 にすればベースを使用しても大丈夫な場合もあります。
- * 熱対策をしてください。リアパネルの部分に空気が流れるように設置し、カーテンや熱機器を近くに置かないようにしてください。
- * 強力な磁気を発するものの近くにアンプ本体やケーブルを置かないようにしてください。